

# 「劇場型勧誘電話に注意！」

## ～老人ホームに入居する権利が当たった？～

お問い合わせ 消費生活センター

(平日)午前9時～午後4時 ☎57-8143

消費者ホットライン

い や や い や い や  
☎188 (嫌や!泣き寝入り)

「老人ホーム入居権」に関する劇場型勧誘と思われる不審な電話についての相談が寄せられています。不安に感じたり対応に困ったときは、相手に連絡する前に消費生活センターや警察へ相談してください。

### 【相談事例】

大手通販サイト事業者を名乗る人から突然電話があり、「あなたのお住まいの地域に大手洗剤メーカーが老人福祉施設を建設することになり、私たちも参入することになった。無作為に選ばれたあなたにも入居する権利があるが希望しますか」と言われた。「要らない」と答えると「それではあなたのお名前を抹消します。ネット上の手続きが必要となるので、後ほど電話をします」と言われた。電話がかかってきたらどうしたらよいか不安だ。

### 【アドバイス】

「老人ホームに入居できる権利がある」などと勧誘する劇場型勧誘と思われる。相手の話しには乗らず、事実かどうか確かめることが大切です。また劇場型勧誘の手口は、事業者、警察、弁護士などいろいろな人物が登場している人物が登場して電話がかかってきます。知らない人からの電話は特に注意してください。

## 首都圏情報コーナー

### 佐渡市東京事務所の新体制がスタート

去る1月1日、佐渡市東京事務所で人事異動があり、年初から新体制がスタートしました。過去7年半にわたり事務所長を務めた榎谷端夫さん(小木出身)、事務所開設以来12年にわたり駐在員を務めた元田利夫さん(畑野出身)、名畑榮雄さん(真野出身)が退任され、新所長に小路徹(両津出身)、駐在員として伊豆野泰弘さん(両津出身)、北嶋准さん(小木出身)、高野一久さん(金井出身)が就任し、4人が日替わりで一人ずつ勤務しています。

事務所の運営は、市の委託を受けて首都圏佐渡連合会が行っています。4人の駐在員は首都圏佐渡連合会の郷土連絡委員会にも属し、伊豆野さんは文化芸能部会長、北嶋さんは観光部会長、高野さんは産業振興部会長に新たに就任し、各部会の活動を統率しています。

事務所の役割は、「佐渡市が推進する観光、文化・芸能、産業振興等に関して首都圏への情報発信またはこれらの情報収集」を行うことで、市役所の担当課と連携しながら、首都圏佐渡連合会の会員(約7千人)を中心に情報の受発信を行っています。情報の発信力強化のため、ブログにも力を入れています。「佐渡市東京事務所ブログ」で検索してください。

(文責：佐渡市東京事務所 小路 徹)



左から高野、小路、北嶋、伊豆野各駐在員

### 編集後記

この間正月があけたと思えば、もう3月。進級・進学の時節を迎えます。

我が家の子どもたちもそれぞれ一つ上のクラスに進級します。日に日に立派になっていく子どもたちの成長を実感しながら、私も成長しなければと思う今日ごろです。(K.O)

